



NICHIBAN

シールテープ せこたん™ CS-5010

低圧注入工法用「シール材」

取扱説明書



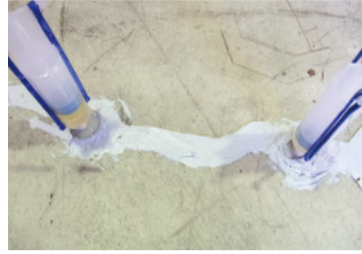
せこたん™

せこたん™専用プライマー

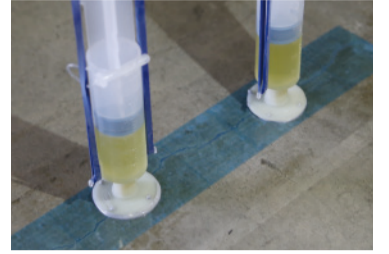
ニチバン株式会社

シールテープ せこたん™ CS-5010 とは

シールテープ せこたん™ CS-5010(以下せこたん™)とは
コンクリートひび割れ補修工法の1つである
低圧注入工法に使用するシール材(目止め材)です。



従前までの施工



せこたん™使用例

特長

- 補修材の注入状況を確認できる。
- 養生時間が短く、工期を短縮できる。
- 施工後のはく離が容易で、仕上がり面がきれい。
- テープに目盛りがあり、注入座金固定の位置決めをし易い。

施工時間の目安

■ 施工1日目



■ 施工2日目



【条件】直線ひび割れ3mの施工(施工時期:春-秋)の場合
※施工場所、気温による養生時間の変化等により、施工時間は変動します。

ご使用いただく前に

保管上の注意

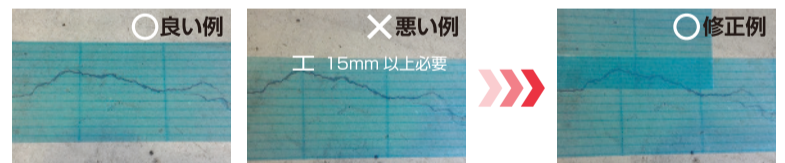
- 子どもの手の届かない場所に保管してください。
- 高温多湿を避け、直接日光の当たらない場所に保管してください。

使用上の注意

- 本来の用途以外には使用しないでください。
- **エポキシ樹脂系補修材**を注入してください。
- 5℃以下の低温条件や 40℃以上の高温条件でのご使用はお控えください。
- 下地が濡れている場合はよく乾燥させてください。
- 下地処理を実施してください。
 - ・ **スクレーパー**で突起、汚れ等を削ぎ取ってください。
 - ・ **粗い面はディスクサンダ**で下地研磨してください。
※経年コンクリート、新設コンクリートにかかわらず、粗い面に対してせこたん™を貼付しても、十分な粘着力を発現することができません。
 - ・ **プライマー塗布を実施してください。**
※経年コンクリート、新設コンクリートにかかわらず、汚れや白華等の粉が付着している面に対してせこたん™を貼付しても、十分な粘着力を発現できませんが、清掃とプライマー塗布により粘着力が改善されます。
※水系非硬化型のプライマーです。補修材注入、硬化後にせこたん™をはく離、水拭きすれば、基本的に塗り跡を除去可能ですが、事前に、塗り跡が残るかどうかを目立たない箇所を確認の上、使用してください。

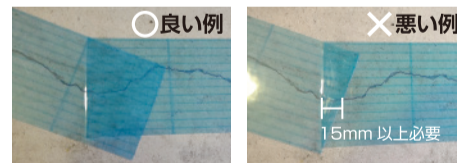
■ せこたん™を貼付する際は、下記の点にご注意ください。

- ・ ひびが**端から15mm以上内側に収まる**よう貼付してください。

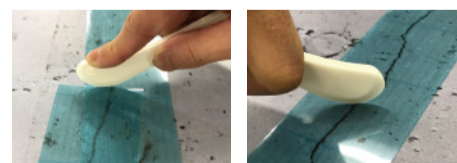


端から15mm以下にひびがある場合、上から増し貼りしてください。

- ・ 継ぎ貼りする際も、**15mm以上重なる**よう貼付してください。



- ・ **増し貼り、継ぎ貼りや、ひび周辺の段差部**は空気が入らないように**硬質ヘラ(プラスチック製)**等で強く圧着してください。



■ 補修材注入後は、3日以内にせこたん™を剥がしてください。

■ はく離後は必要に応じて後処理を行ってください。

※本品は使用方法・使用条件(表面状態や段差等)によって本来の性能を発揮できない場合があります。事前に目的の用途に適合するか必ず確認の上、ご使用ください。

施工手順

せこたん™のシール性能は、下地処理と圧着の程度に影響を受けます。

1



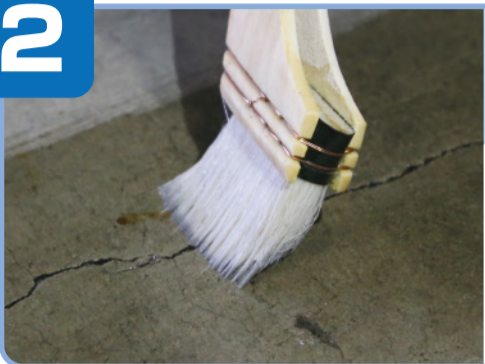
下地研磨

注) 表面粗さはサンドペーパー#50で研磨したレベルが目安
※ 表面粗さ Ra=5~6μm 以下が目安です。
※ 目安: 塗装型枠で打設した躯体の表面粗さはRa=2~3μm程度です。

- ・スクレーパーで突起、汚れ等を削ぎ取り。
- ・粗い面はディスクサンダで下地研磨。



2



プライマー塗布

注) プライマーはコンクリート素地専用。
※ 塗装面等には使用しないでください。
※ プライマーの塗り跡は、一連の補修工程後に水拭きすれば、除去可能ですが、事前に、塗り跡が残るかどうかを目立たない箇所で確認の上、使用してください。

- ・プライマーを刷毛で塗布。
- ・原液をそのまま塗布。



水拭き



乾燥後

プライマー乾燥時間 (春秋 約15分、冬 約30分)

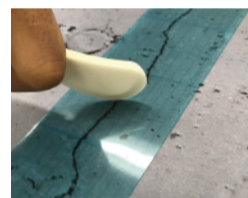
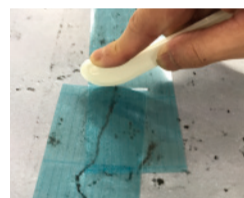
3



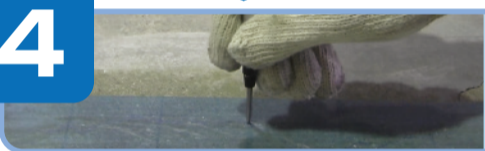
せこたん™ 貼付

注) シワや気泡が入らないように仮貼付。
※ 一方から背面を押えて滑らし、空気を抜きながら仮貼付します。
ヘラを使って強く圧着。
※ ひび周辺や粗い部分、重ね貼り段差、袋貼り折曲部分は、ヘラを立てた状態でしごくように強く圧着します。
※ 裁縫用のプラスチック製ヘラが硬質で、圧着に適しています。

- ・布切れや軍手を丸めたもの等、滑りやすいもので背面を押さえながら滑らせ、仮貼付。
- ・硬質ヘラ等を使い、強く圧着。



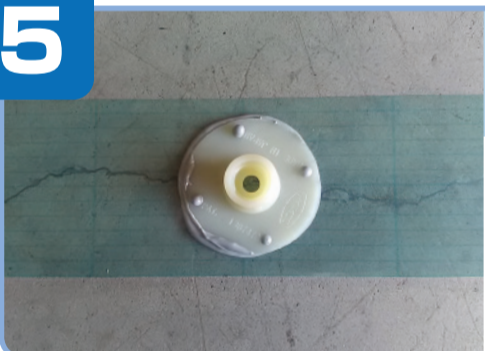
4



注入孔の穿孔

- ・注入座金を固定する位置に、ポンチ等で背面からせこたん™を穿孔。

5



注入座金取り付け

- ・速硬化型接着剤で注入座金を固定。

※速硬化型接着剤の注意事項、使用方法、養生時間は、それぞれの取扱説明書の記載内容に従ってください。

注) せこたん™背面が汚れていたら、シンナー等で拭き取る。
※ 汚れたままで固定した場合、補修材注入時に注入座金が外れる可能性があります。
注入座金固定に使用の速硬化型接着剤の余りでシール補強。
※ 段差が大きく、せこたん™が追従しにくい部分は、速硬化型接着剤等で補強してください。



せこたん™の養生時間(春秋 約30分、冬 約60分)

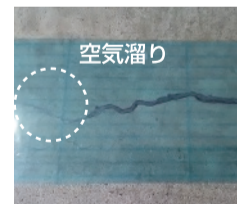
6



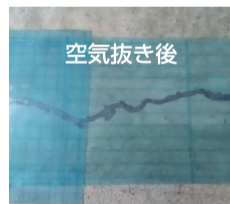
補修材注入と充填状況確認

- ・低圧注入工法でエポキシ樹脂を注入。
- ・せこたん™背面から充填状況視認。

注) 空気溜りがあれば、空気抜きを行う。
※ 空気溜り上部のせこたん™を穿孔、空気抜き後、重ね貼りして封止してください。
せこたん™が膨らんだ場合は、注入圧を下げる。
※ 補修材漏れを防ぐ為、注入器の輪ゴムを外す等、注入圧を下げてください。
※ せこたん™増し貼り、速硬化型接着剤等でシール補強した上で、再加圧してください。
※ 注入座金固定部分から補修材が漏れた場合は、速硬化型接着剤でシール補強してください。



空気溜り



空気抜き後

補修材硬化時間 (約 24 時間)

7

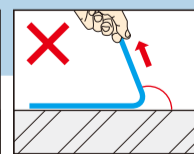
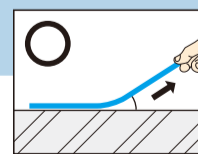


せこたん™ 除去

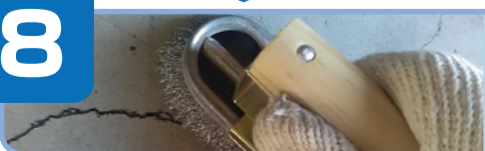
- ・90°以下の角度で、低速はく離。
- ・スクレーパーでの削ぎ取りも可能。

注) ゆっくり、浅い角度で剥がす。
※ 高速で剥がすと糊残り、深い角度で剥がすと基材切れの可能性があります。

床から90°以下の角度



8



後処理

- ・糊残りは溶剤シンナー等で拭き取り。
- ・貼付跡は金属ブラシ等で擦り取り。

※本品は使用方法・使用条件(表面状態や段差等)によって本来の性能を発揮できない場合があります。事前に目的の用途に適合するか必ず確認の上、ご使用ください。